

虹色の扉を越えて…不思議な世界への冒険

目次

・第一章 予期せぬ旅立ち
有料

第一章 予期せぬ旅立ち

私の名前は結衣。普通の高校生だと思っていた。毎日、友達と一緒に学校に通い、授業を受け、放課後にはカフェでおしゃべりを楽しむ、そんな平凡な日常が続いていた。

でも、あの日を境に全てが変わった。

目を覚ますと、見知らぬ場所にいた。周りを見回すと、床が浮いているような不思議な空間。慌てて走り出すと、通り過ぎた床が音もなく崩れ落ちていく。心臓が口から飛び出しそうだった。

右手に見えた部屋に飛び込むと、そこには驚くべきことに、クラスメイトの顔があった。親友の由美が笑顔で迎えてくれる。

「結衣！ やつと来たね！」

混乱する私を尻目に、由美は何事もないかのように話しかけてきた。状況が飲み込めないまま、私は部屋を出た。すると、なぜか一番の親友である健太が私に付き添ってくれた。

「大丈夫？ びっくりしたよね」 健太が優しく声をかけてくれる。

私たちは前に進み、鍵を差し込む場所を見つけた。どういうわけか、私のポケ

ットには鍵が入っていた。鍵を差し込むと、細い通路が現れ、その先には明らかに動きそうな壁があった。：